

# 輝け古舞っ子

令和5年度  
幕別町立古舞小学校  
学校だより 第371号  
令和5年9月30日

「子どもたちとともにあったもの」

校長 猪股 宏 亮

古舞小学校の校庭にあった2本の老木が2日に撤去されました。これまで何十年と学校の庭に根を張り、子どもたちの活動を見守ってきた大木でした。しかし、幹の3分の1ほどが食害によって空洞になって朽ちかけているなど、危険な状態でもありました。実際、昨年秋ごろから、強風が吹くと3mもあろうかという大きく太い枝が折れて、落下するなど危険な兆候も度々ありました。

2本の木が朽ちかけていたことと、体育館の壁面に掲げられた閉校記念看板が、木が邪魔して見えにくいということも重なって、閉校記念協賛会からも撤去の要望が持ち上がっていました。そしてこの度、教育委員会の配慮で予算付けがなされ、休日を利用して撤去されました。

大木が2本もなくなると、ずいぶん校庭も開けた感じになりました。鬱蒼としていた校庭は明るさを取り戻し、体育館の看板もよく目立つようになりました。

子どもたちの成長を見守ってきた2本の大木には、感謝とお疲れさまという言葉を中心に掛けてあげました。

古舞小学校の中には、118年という長い歴史の中で、子どもたちの成長を見守ってきたものや子どもたちの活動を支えてきたものがたくさんあります。多くは学校備品ということで、備品台帳に登録されています。備品は更新されたり、廃棄されたりしながら、子どもたちの学びを支えてきました。学校備品の他にも、PTAが予算繰りをして配備してきたものや、周年事業で多額の寄付を集めて購入したり、建造したりしたものもあります。

今年度で閉校となることから、1200近い備品アイテムすべてについては、町内13の学校や教育委員会に振り分けることとなりました。備品リストを各学校や教育委員会に送り、学校の備品には全て備品番号シールを貼り、夏休みに各学校の希望する備品にタグ付けをしてもらいました。

そして先般、引き取り希望のあった備品について、新たな行き先を決めました。新たな学校でも大切に、そして有効に使われることを願ってやみません。

古舞小学校には、子どもたちの成長を後押しするものとして、備品や道具のみならず、「学校農園」という最強の教育支援施設がありました。

毎年、PTAの機動力を得て、トラクターで耕耘してもらうほど広い畑です。子どもたちは、5月の植え付けに始まり、毎日の水やり、草取り、そして収穫や調理と、ほぼ5カ月間丸っこく畑と関わる毎日を送ってきました。子どもたちは学校に到着するとカバンを玄関に置き、真っ先に畑に向かいました。水をやったり、野菜を収穫したり、つぶさに観察したりしていました。

野菜を育てることで、子どもたちの知識や技能が研かれ、経験値を高めることができました。子どもたちにしてみれば、野菜を育てているつもりだったと思いますが、野菜を育てることで子どもたちは逆に、大いに育てられてきました。

また、同窓会によって管理されている池には鯉と金魚が泳ぎ、こちら子どもたちが餌をやる等、毎日欠かさず世話をしてきました。ここでもたくさんの学びがありました。

子どもを育む豊かな教育環境やものに感謝するとともに、それらを大切に作る心をいっそう育んでいきたいと思っています。

# 豊穰の秋

学校農園に撒いた種が収穫の時期を迎えました。子どもたちは、毎日欠かさず水遣りをしたり、草取りをしたりして丹精込めて育てました。

4年生がハウスで育てたスイカは、大きなものが4つもできました。給食の時にみんなで食べました。とても甘くておいしいスイカでした。

低学年もジャガイモで芋もちをつくりました。



大きく実った4年生のスイカ



みんなで作った芋団子（低学年）

ポテトフライにしたり、芋団子にしたりして、お母さんたちを招待して食について学習を深めました。

どの学年も必ず他の学年や先生たちにもお裾分けをしてくれます。おいしくいただきました。

先生の手ほどきを受けながら、5人で力を合わせて芋を切って、茹でて（レンジ）、つぶして、丸めて、焼きあげました。これもみんなにお裾分けしてもらいました。

4年生はたくさん芋を育てました。インカのみぎめ、メイクーン、ぽろしり、スノーデンなどです。ポ



4年生 ポテトフライ・芋団子作り

## 丸田教頭先生の合唱指導



9月4日（月）さつない学園途別小学校の丸田教頭先生に来校いただき、今年2回目の合唱指導をしていただきました。

校歌、ビリーブ（さつない学園の歌）、閉校の歌の3曲について指導をしていただきました。

特に3曲目の閉校ソングについては、「気を付けをして歌う歌ではないよね。」「未来に向かって明るく進もうという歌だから、リズムをとりながら楽しく歌おう。」というご指導をいただきました。

子どもたちも納得の表情で指導を受けていました。さっそく、指導を生かして、各クラスの授業や、朝の学活の中で歌の練習をしました。



# 写生会

低学年が図工で「トラクターの絵」を描きました。

「本物を目の前でじっくり見て描く」本物に勝る教材はありません。子どもたちは真剣に、よく見て、正確に描きました。

迫力のあるトラクター（本物）の力は絶大です。遠くから子どもたちのためにトラクターを運んでいただいた速水さん、誠にありがとうございます。古舞ならではの「本物の学び」の機会を創出していただきました。出来上がりが楽しみです。



本物は迫力が違う！本物の力です

# 古舞神社祭

9月5日は秋の古舞神社祭でした。コロナウイルス感染症のため、4年ぶりの開催となりました。

今の5年生が1年生の時にやって以来となり、子どもたちにとっても、ほとんど記憶がないという具合です。教職員も唯一知っているのは千葉先生だけという状況でした。

かつては、近隣センターの駐車場で、地域みんなで焼き肉をしたり、子どもたちが神輿を担いだりしていたそうです。

今年は、子ども神輿の奉納とヨサコイを披露し、地域の方と一緒に焼き肉をする予定でしたが、あいにくの降雨となり、神輿もヨサコイも出番がありませんでした。

神輿は、子どもたちが新たに飾りつけを作り直す等、リニューアルして準備してきたのですが、残念ながら出番はありませんでした。ヨサコイの方も何度か練習したのですが、披露する機会はありませんでした。



出番のなかった子ども神輿



総勢約80名が集いました

しかしながら、学校の車庫とテント6張りを連結して総勢約80名の地域の方が一堂に会し、4年ぶりの神社祭をかつてのように取り戻すことができました。

準備に当たられた地域の皆様、大変お疲れさまでした。

子どもたちにとっても、地域の伝統行事を守り、受け継ぐという地域の精神を学ぶいい機会になったと思います。こうして、脈々と伝統が受け継がれていくのだなと思いました。

あいにくの雨天で、神輿とヨサコイの奉納はできませんでしたが、楽しいひと時を地域の方々と一緒に共有でき、有意義な時間を過ごすことができました。

皆様、どうもありがとうございました。

# 10月の行事予定

9月の中旬を過ぎたというのに30度を超えるなど、夏がまだ粘りを見せていますが、さすがにひんやりとしてきました。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		17	火	
2	月	児童会 安全点検日 三役部長会議	18	水	宿泊学習
3	火	さわやかタイム 視力検査(低)	19	木	宿泊学習
4	水	視力検査(中) 職員会議	20	金	C I R
5	木	視力検査(高)	21	土	
6	金	C I R 管内へき地複式研中土幌小	22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	歌声集会
9	月	スポーツの日	25	水	
10	火	クラブ	26	木	祖父母参観日
11	水	インターンシップ受入大谷高校	27	金	学芸会特別時間割 C I R
12	木		28	土	
13	金	C I R	29	日	
14	土		30	月	交流学习③(小小連携)
15	日		31	火	月末統計
16	月	児童会			

# 9月のできごと

日	曜	主なできごと
4	月	<p><b>丸田教頭先生の合唱指導</b></p> <p>途別小学校の丸田教頭先生にお越しいただき、2回目の合唱指導をしていただきました。校歌・ビリーブ・閉校記念の歌の3本立てでご指導いただきました。特に、閉校記念の歌は、「未来に向かって明るく歩いていく気持ちを謳った歌なので、気を付けをして歌う歌じゃないよね。」というアドバイスなど、たくさんのご教示をいただきました。ありがとうございました。子どもたちの歌もよくなりました！</p>
5	火	<p><b>古舞神社祭</b></p> <p>古舞神社の秋祭りが行われました。本校児童も神輿の舞とよさこいを奉納するよていでしたが、朝から降雨となり、奉納は中止となりました。その代わりに、テントをたくさん立てて、地域の方たちと炭火を囲んで焼き肉などをご馳走になりました。</p>
11	月	<p><b>道徳参観日</b></p> <p>閉校記念協賛事業の一環として、神戸から多賀一郎先生を招き、道徳の公開授業と茶話会を行いました。たくさんのお絵本を通して、子どもたちの心に余韻を残す授業をしていただきました。茶話会では、日ごろの子育てに関する悩みや疑問について、適切なアドバイスをいただきました。</p> <p>多賀先生、ありがとうございました。</p>